

三高探究の日

2021.5.17 (月) 理数科・普通科全学年

CONTENTS

午前の部	午後の部
<ul style="list-style-type: none"> ・受賞研究発表（自然科学部） ・理数科3年口頭発表 ・普通科3年ポスター発表 ・普通科2年テーマ発表 3min. 	<ul style="list-style-type: none"> ・理数科2年テーマ発表 3min. ・理数科3年ポスター発表 ・普通科3年口頭発表



※今年度は理数科・普通科全学年で実施しました



● 三高探究の日に参加して

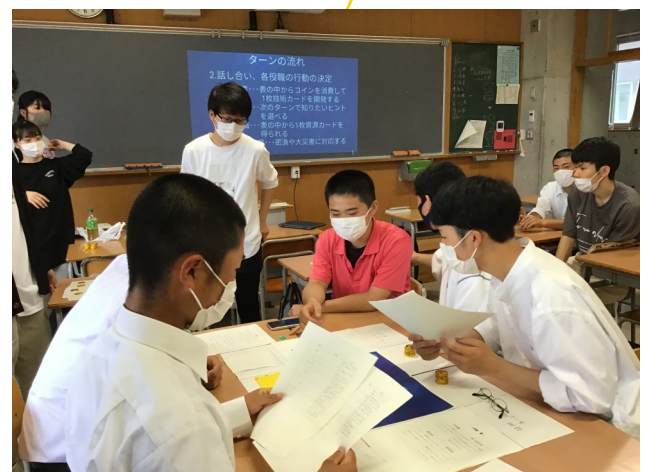
時が過ぎるのは早いもので、自分が課題研究の集大成の発表を終えたとは未だに思えない。というのも、2年前のこの行事の印象がまだ鮮明に残っているからだ。当時は多くの外部の先生方が実際に参加し、高度な議論を交わしていた。1年生だった私は度肝を抜かれた。「こんな難しいの!？」と。それから2年が経ち、自分達の番になった。友達が世界に誇る研究を発表する姿、互いに疑問をぶつけ知識を深める仲間の姿は記憶の中の先輩方を超えるほどかっこよかった。私自身も、人に分かりやすく伝える難しさや質疑応答の楽しさを知り、1歩成長できたと思う。研究発表で衝撃の連鎖が生まれ、今後のこの行事がより良いものになることを期待している。

(3年理数科 木村 野乃子)

● 発表者の身になってみて

昨年秋のポスター発表での反省を踏まえ、この探究の日に向けて半年間自分たちの班に必要な資料や考察を補って臨みました。しかし、集大成だと意気込んで発表したものの、ご指摘に上手く返答できなかった部分があったことが心残りとなりました。自分たちの探究にはまだ何が足りないのか、根拠として何を付け足せばより信憑性を持たせることができるのか、個人論文完成までは短い時間しかありませんが、より完成度の高い論文を仕上げるため納得のいくまでこれらのことを考え、形にしていきたいと思います。

(3年普通科 齊藤 千夏)



● 探究の日の学び合い

三高探究の日が5月17日に行われた。この日は三年生にとってこれまでの探究の集大成となる日で、多くの探究の発表が行われ、学びの多い一日であった。今回の探究の日では新しく二年生による3minがあった。3minとはこれから探究活動を行う2年生が、これからの探究の展望を3分間で発表するものであった。2年生は具体的に深めていくべき内容が漠然とすることが多い。この機会は様々な人から指摘、質問を受け、探究の問題点を見つけ、一年間の探究の見通しを明るくするものになった。また3年生としても、自身の経験を2年生へフィードバックできる良い機会であった。他学年との学びあいで三高の探究はより深まっていくだろう。

(3年普通科 元沢 一刀)



● 先輩から後輩へ

三高は例年、テーマ設定し、研究に取り組んでいる。その成果を皆に伝える機会が「三高探究の日」である。二年生は、どのような研究をするのかを皆に伝え、外部講師の先生方、先輩方の経験からアドバイスをいただける場である。私は、鬱金桜を挿し木で増やすという発表から、地道に努力することが、ある程度確実に功を成すことを学んだ。

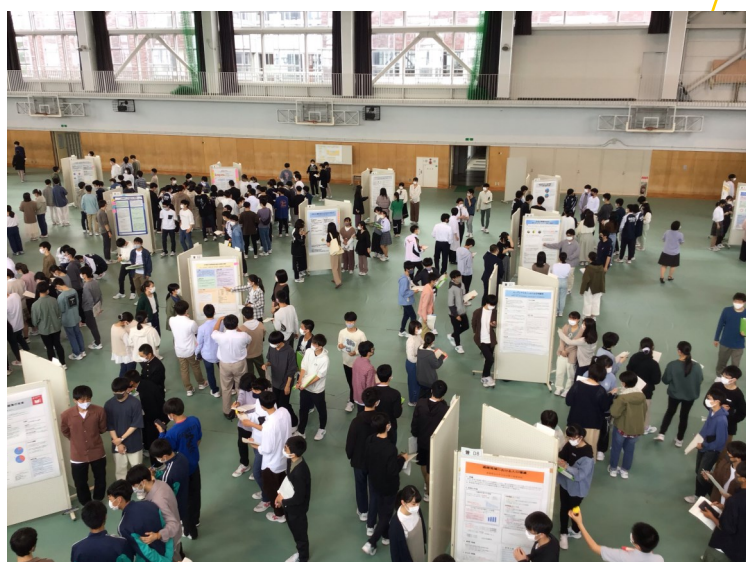
先輩方は、一年間の努力を私達に伝えた。私達の中には、それを継ぐ者もいれば、新たな研究に精を出す者もいる。先輩方の発表の中には、私達がこれから研究を進めていく上で、活用できるものがあったはずだ。それらを参考にして、より良い研究を行い、三高伝統の「三高探究の日」の水準を上げていきたい。

(2年理科 福岡 偉大)

● 三高探究の日に参加して

三高探究の日とは、三年生が一年間かけて行ってきた探究・課題研究の成果や、二年生がこれから始める探究活動について発表する一大イベントです。私たち一年生は見学者として参加しました。発表された研究内容はどれもレベルの高いものばかりでしたが、特に私が興味を持ったのは三高付近のカラスの行動についての研究です。CTスキャンや映像を用いたこの研究では、身の回りの生物にも解明されていない部分がたくさんあるのだということを実感しました。また、今回の発表を聞いて、研究内容だけではなく、効果的なスライドの作り方、プレゼンテーションの仕方も学ぶことができましたので、自分たちが来年行う課題研究に生かしていきたいと思います。

(1年理科 諸根 健大)



これからの行事

6月27日(日)	南三陸フィールドワーク	希望者
8月4日(水)～6日(金)	つくば研修	希望者
8月8日(日)～10日(火)	白神フィールドワーク	希望者

宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19
TEL 022(251)1246
FAX 022(251)1247